

最後の仕上げ「適期刈取」

●出穂後の積算温度で刈取適期をつかみましょう！

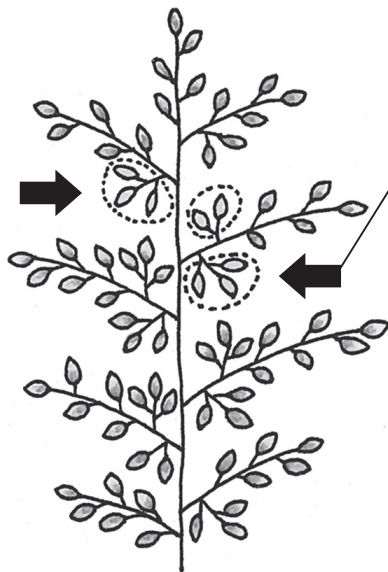
品 種	収穫適期の目安 (出穂後の積算温度)
中生 (コシヒカリ、こがねもち等)	1000℃
早生 (五百万石等)	975℃

積算温度計の設置圃場は、米づくり情報 NO.10 に記載してありますのでご確認ください。

- ・登熟後半が高温で推移し立毛胴割れの発生が懸念される場合は、刈取りを 50℃程度 (2 日程度) 早めましょう。
- ・作業面積が多い方は、積算温度 1,100℃以内に刈取りが終わるよう計画を立てましょう。

●もみの黄化率を確認して刈取りを判断してください。

【刈取り適期の穂】



- ・点線内 (上位 3 ~ 4 本目の 1 次枝梗に着生する 2 次枝梗もみ) が黄化した時
- ・圃場全体のもみが 85 ~ 90%黄化した時

**「積算温度」を目安に
「もみの黄化率」を確認して
刈取り判断をお願いします！**

クサネム除去の徹底をお願いします

クサネム種子の玄米への混入はクレームや格落ちの原因になります。刈取りの前に必ず圃場外へ除去してください。

クサネムの草姿→



完全落水の時期について

根の機能を維持し後期栄養を確保するために、完全落水は出穂 25 日後以降にしてください。但し、地域用水の状況や圃場の条件に合わせた管理をお願いします。

適切な乾燥・調製で高品質・良食味米の 出荷をお願いします！



個袋出荷時の重要事項

- ◎ 仕上げ水分は **14.5 ~ 15.0%** を厳守！
- ◎ 網目は **1.85mm以上** を使用し、整粒歩合 85%以上を目標に！
※品質によっては、1.9mm網を使用しましょう！
- ◎ 皆掛重量は **30.5kg** を確保！

① 乾燥作業…ゆっくり丁寧な乾燥で胴割れ米を防止！

- ・急激な乾燥は、胴割れ米の原因になるため注意してください。
- ・乾燥速度は1時間当たり0.8%以下で行い、玄米水分14.5～15.0%の範囲に仕上げましょう。
※水分計の精度を必ず確認してから作業を始めてください。
- ・立毛胴割れが発生していた場合、低めの温度（1時間当たり0.5%以下）で乾燥しましょう。

② 舂すり作業…適切な調製で肌ずれ、モミ混入を防止！

- ・ゴムロールの間隔は0.8～1.2mm、脱ぶ率80～85%を目標に調製し、肌ずれとモミ混入を防ぎましょう。
- ・舂すりは、舂の温度が常温に下がってから行ってください。

③ 米選作業…整粒歩合85%以上を目標に！

- ・ふるい目は1.85mm以上を使用してください。（品質によっては、1.9mm網を使用する）
- ・舂すり機と同程度以上の能力の米選機を使用しましょう。また、流量を適正に調節することで屑米を除去し、整粒歩合85%以上を目標に仕上げましょう。
- ・近年、石混入によるクレームが増加しています。石が混じらないよう注意してください。

④ 計量作業…皆掛重量は30.5kgを厳守！

- ・計量器の事前点検と作業中の重量確認は必ず行いましょう。

※重量に過不足が発生した場合、自分ではかり直して再出荷して頂くことになります。

携帯メール会員募集!!

無料（通信料は除く）でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします！

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課 (TEL777-3786) までお問い合わせください。